



Exceed One Backup

for SharePoint® Online

操作マニュアル



目 次

1. 画面構成
2. ライセンス登録
3. 証明書作成
4. EntraID の設定
5. サイト設定
6. サインイン
7. バックアップ方法
8. バッチバックアップ方法
9. 終了方法
10. アンインストール
11. 注意事項

はじめに

『Exceed One Backup』（以下、EOB）は、SharePoint Online 上のデータをローカルストレージへ保管するアプリケーションです。

EOB に関する最新の情報は、当社ホームページもしくは製品ページを参照ください。

当社ホームページ： <http://www.exceedone.co.jp>

製品ホームページ： <http://www.exceedone.co.jp/eob/>

エディションについて

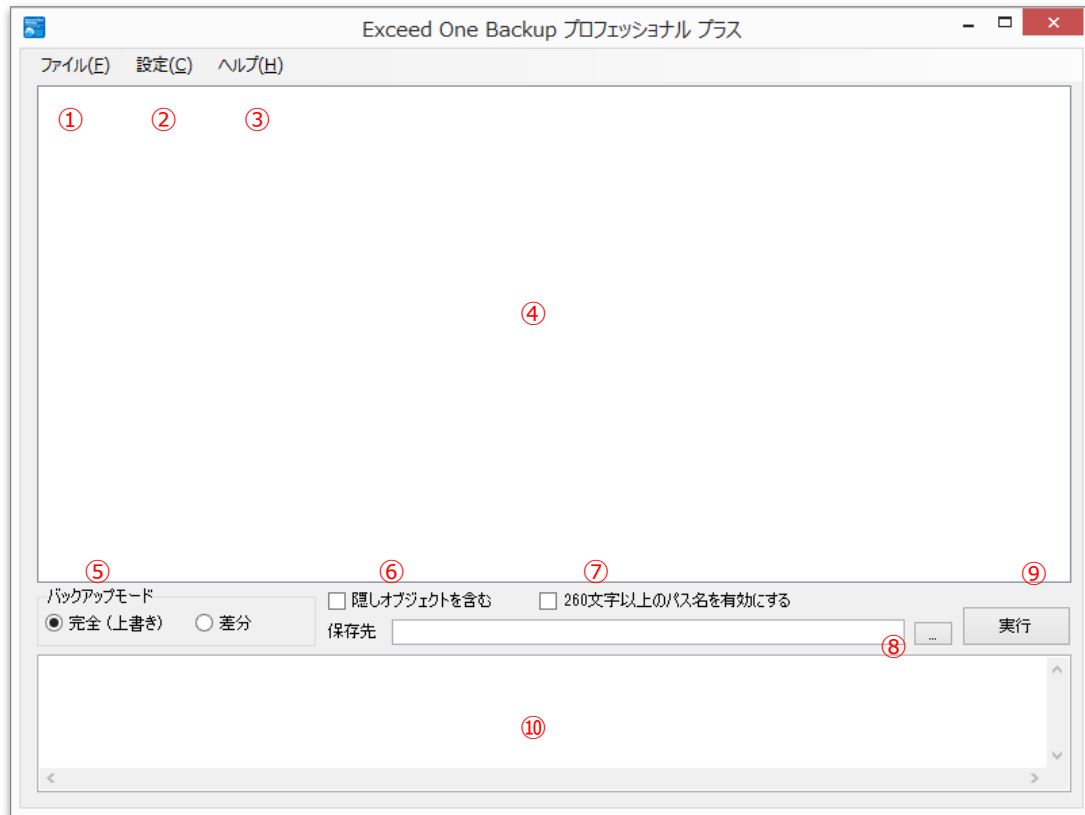
本製品はエディションによりバックアップできるサイトが異なります。

サイト	プロフェッショナル	プロフェッショナル プラス
一般サイト	○ バックアップ可能	○ バックアップ可能
個人用サイト (OneDrive for Business)	× バックアップ対象として 選択できません。	○ バックアップ可能
グループ用サイト	× バックアップ対象として 選択できません。	○ バックアップ可能

エディションによる操作の違いは、本マニュアルを参照してください。

1. 画面構成

1) 画面構成



以下の機能が選択できます。

① ファイル

- ・サインイン：Office365 へのサインイン画面を表示します。
- ・終了：EOB を終了します。

② 設定

- ・言語：言語切り替えを行います。
- ・登録：ライセンスを登録します。
※ライセンス登録済みの場合は「登録解除」となり、ライセンス登録を解除します。
- ・証明書作成：SharePoint からデータをバックアップするための証明書作成を行います。
- ・サイト設定：SharePoint からデータをバックアップするための設定を行います。
- ・バッチ設定ファイル作成：バッチ処理用の設定ファイルを作成します。

③ ヘルプ

- ・マニュアル：本マニュアルの Web サイトを表示します。
- ・ライセンス：EOB のライセンス規約の Web サイトを表示します。
- ・バージョン：バージョン情報を表示します。

④ サイト

サインイン後に、バックアップ対象となるサイトが表示されます。

⑤ バックアップモード

バックアップモードを選択できます。

【完全（上書き）】

保存先に同じファイルが存在する場合、上書き保存します。

【差分】

保存先に同じファイルが存在する場合、「ファイルサイズ」「更新日時」が同じ場合は上書きしません。

⑥ 隠しオブジェクトも含む

SharePoint のサイト設定上、不可視属性（Hidden）がついているオブジェクトを保存するかを選択します。

【チェックあり】

隠しオブジェクトも保存します。

【チェックなし】

隠しオブジェクトは保存しません。

⑦ 260 文字以上のパス名を有効にする

保存先のパス名（ファイル名含む）が 260 文字以上の場合でもファイルを保存します。
本機能を使用する場合は【8.注意事項】を参照ください。

⑧ 保存先

保存先を選択、もしくは入力します。

⑨ 実行（処理中はキャンセル）

バックアップを開始します。

バックアップ処理中に「キャンセル」とクリックすると処理が中止されます。

⑩ 実行ログ

処理中の状況が表示されます。

2) 起動時

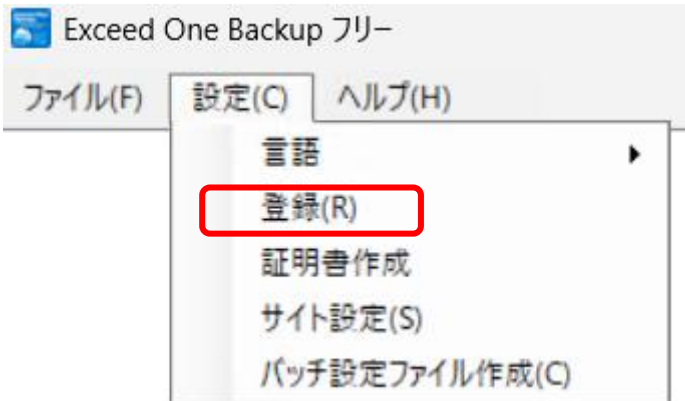
EOB を起動すると、Office365 へのサインイン画面が表示されます。

初回起動時や各種設定を行う場合、サインインをしない場合は「キャンセル」でサインイン画面を閉じます。

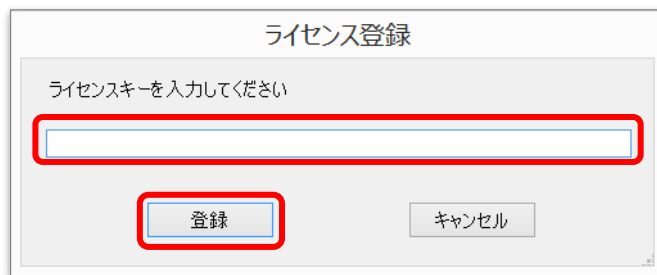


2. ライセンス登録

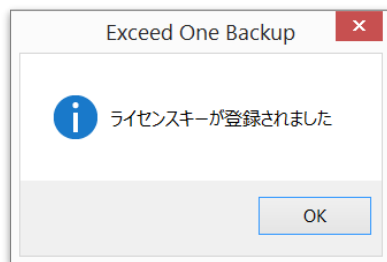
1) メニュー「設定」→「登録」を選択し、登録画面を表示します。



2) 発行されたライセンスキーを入力し「登録」をクリックします。



3) ライセンスが登録されます。



※ライセンス登録が失敗した場合は、ライセンスキーを確認し、再度登録をおこなってください。

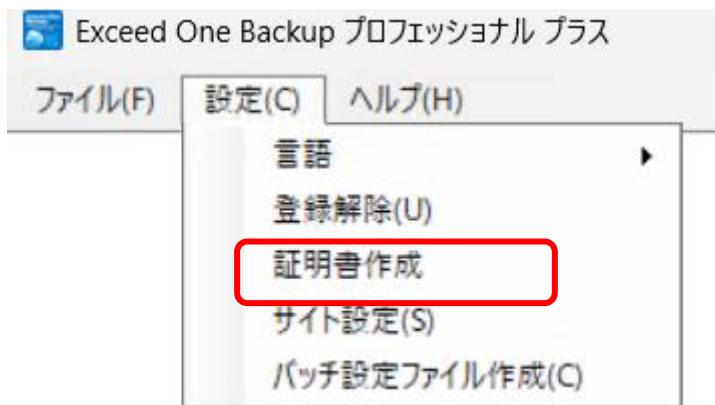


3. 証明書作成

①EOB を起動します。

その際、「サインイン」画面は「キャンセル」で閉じてください。

②「設定」→「証明書作成」をクリックします。

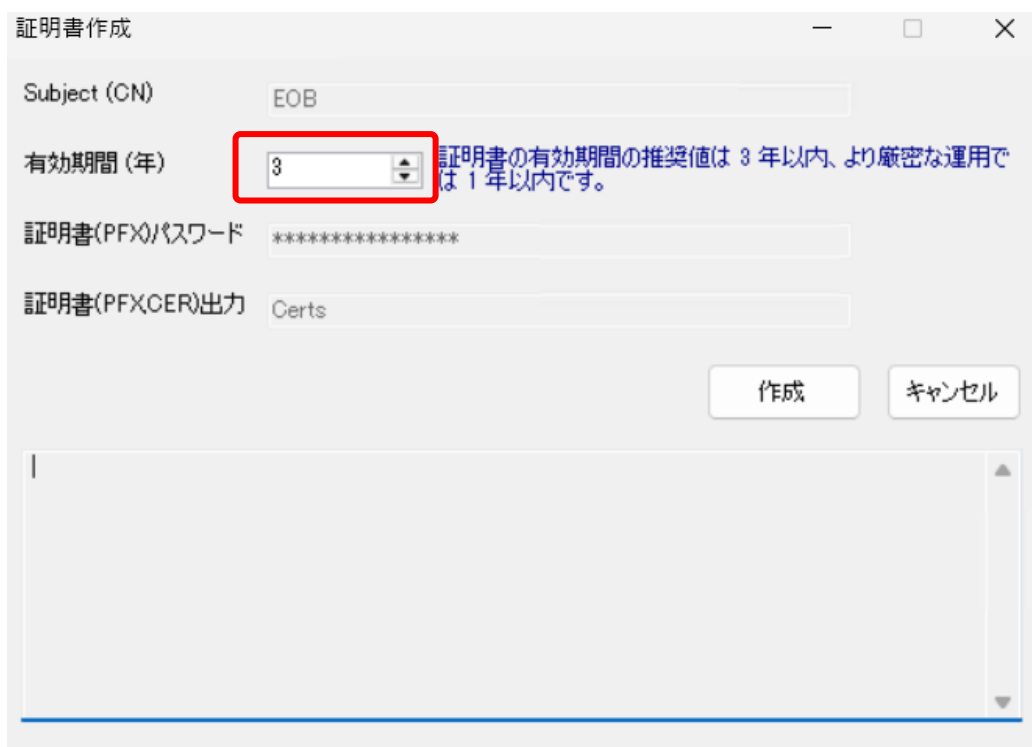


③サイト設定画面で、以下の値を入力します。

有効期間：SharePoint に認証するための証明書の期間を指定します。

※証明書には有効期間があり、現在 EntraID の仕様で上限はありません。

※証明書の有効期間の推奨値は 3 年以内、より厳密な運用では 1 年以内です。



④作成をクリックします。

証明書作成

Subject (CN) EOB

有効期間 (年) 3 証明書の有効期間の推奨値は 3 年以内、より厳密な運用では 1 年以内です。

証明書(PFX)パスワード *****

証明書(PFXCER)出力 Certs

作成 キャンセル

⑤「OK」をクリックします。

証明書作成

Subject (CN) EOB

有効期間 (年) 3 証明書の有効期間の推奨値は 3 年以内、より厳密な運用では 1 年以内です。

証明書(PFX)パスワード *****

証明書(PFXCER)出力 Certs

作成 キャンセル

証明書作成

証明書を作成しました。

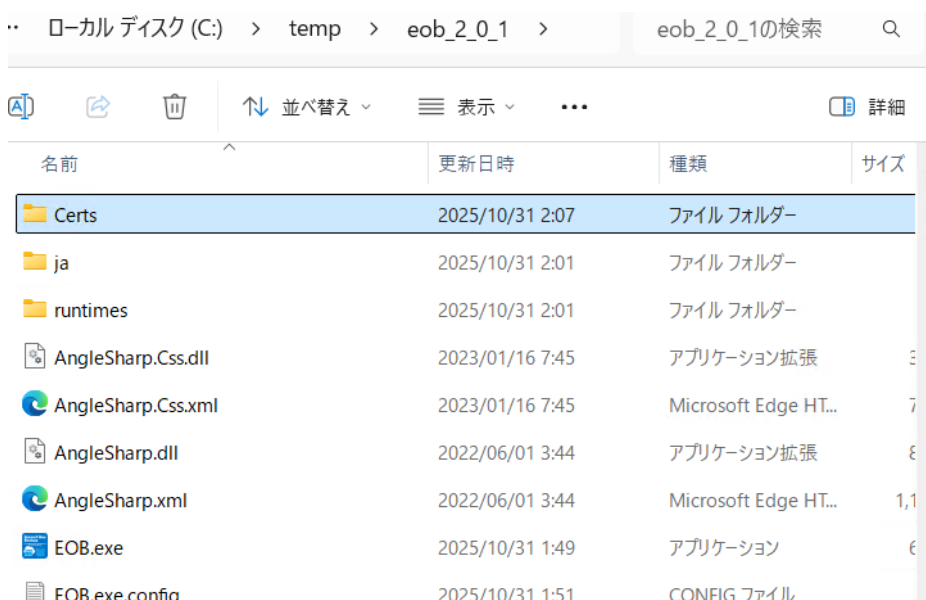
OK

¥eob_2_0_1¥Certs¥EOB_2025103
出力フォルダ: C:\temp¥eob_2_0_1¥
PFX ファイル: C:\temp¥eob_2_0_1¥
CER ファイル: C:\temp¥eob_2_0_1¥
証明書作成に成功しました。

Subject: CN=EOB
有効期限: 2025-10-31 02:07:07Z ~ 2028-10-31 02:07:07Z
Thumbprint: 9634D3ED0C1EE243009E27B7D1948F84F6EAA806

⑤「キャンセル」をクリックします。

⑥証明書は「EOB.exe」と同一フォルダーの「Certs」フォルダーに保存されます。



こちらの証明書は後程利用します。

EOB.cer : 証明書の公開鍵 ※「4. EntraID の設定」で利用します。

EOB.pfx : 証明書の秘密鍵

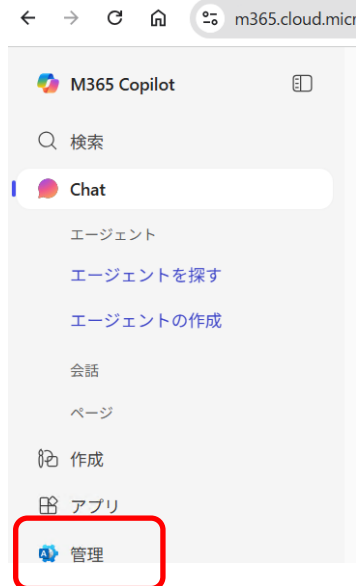
... temp > eob_2_0_1 > Certs Certsの検索 🔍

📄	🔗	🗑️	↕️ 並べ替え ▾	☰ 表示 ▾	⋮	🔍 詳細
名前	更新日時	種類	サイズ			
📄 EOB.cer	2025/10/31 2:07	セキュリティ証明書				
📄 EOB.pfx	2025/10/31 2:07	Personal Informati...				

4. EntraID の設定

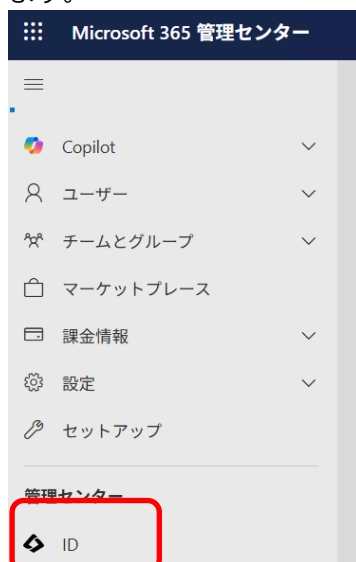
注意) この作業には Microsoft365 のグローバル管理者権限が必要です。

- ① Microsoft 365 のメニューより、「管理」をクリックします。



- ② 管理センターより「ID」をクリックします。

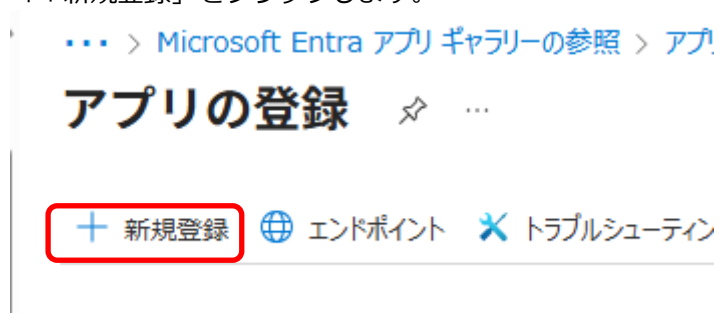
※以降、Microsoft Entra 管理センター (<https://entra.microsoft.com>) での説明となります。



- ③ 左メニューより「アプリの登録」をクリックします。



- ④ 「+新規登録」をクリックします。



- ⑤ 「+新しいアプリケーションの登録」をクリックし、“作成”ブレードに以下の通り入力もしくは選択します。

名前：EOBAux ※名前を変更しても問題ありません。(例: EOBAux20251031)

サポートされているアカウントの種類：

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント

入力が終わったら「登録」をクリックします。

Microsoft Entra 管理セ... リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

Copilot

... > アプリの登録 > アプリケーションの登録 > アプリの登録 >

アプリケーションの登録

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

EOBAux

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか？

☒ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) のみ - シングル テナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Microsoft Entra ID テナント - マルチテナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Microsoft Entra ID テナント - マルチテナント) と個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

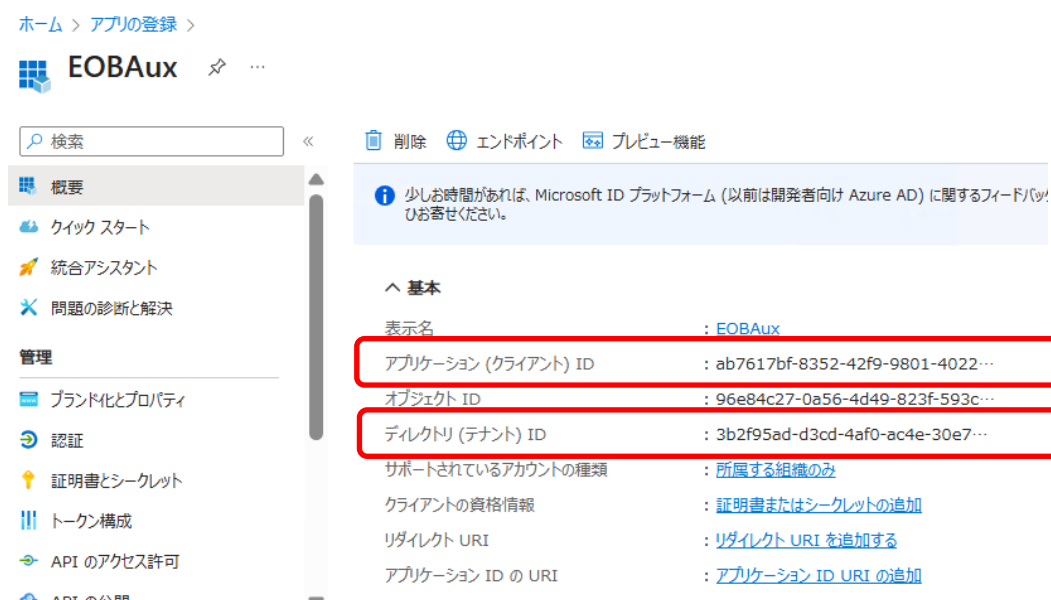
⑥ 登録後、“アプリの登録”に戻ります。

“すべてのアプリケーション”をクリックします。

検索画面に“EOBAux”と入力すると登録したアプリケーションが表示されるのでクリックします。



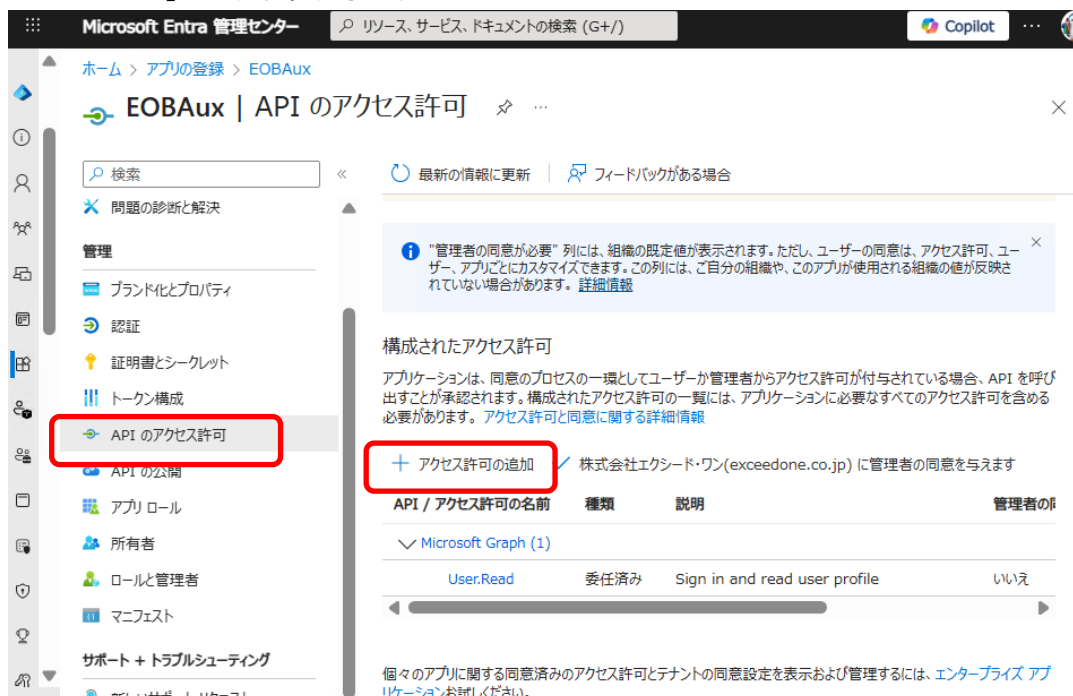
⑦ “アプリケーション (クライアント) ID”と“ディレクトリ (テナント) ID”の値をコピーします。(後工程で必要となります)



⑪ Microsoft Graph(User.Read) 削除

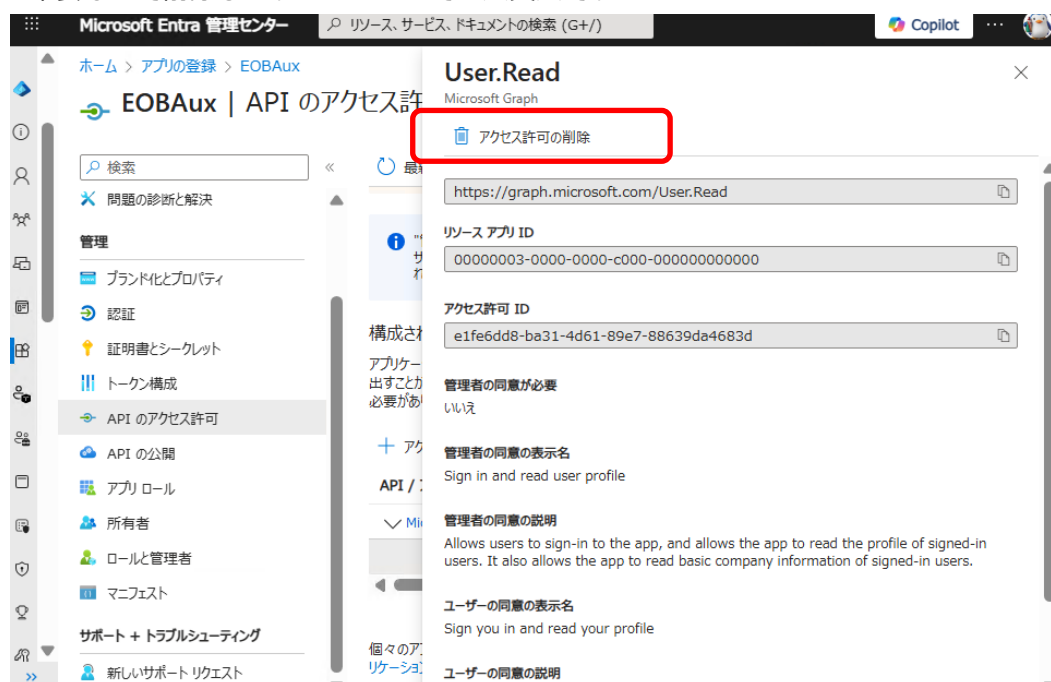
「API のアクセス許可」をクリックします。

「User.Read」 をクリックします。



「アクセス許可の削除」をクリックします。

※不要なので削除します。そのままで大丈夫です。



⑫ Microsoft Graph(Group.Read) 追加

「アクセス許可の追加」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Entra management console. The left sidebar contains navigation options like 'Home', 'Quick Start', 'Unified Assistant', 'Problem Diagnosis and Solution', 'Management', 'API Access Permissions', 'API Public', 'API Role', 'Owner', 'Role and Administrator', 'Manifest', and 'Support + Troubleshooting'. The main content area is titled 'EOBAux | API のアクセス許可'. It includes a search bar, a 'Refresh' button, and a 'Feedback' link. There are two warning messages at the top. Below them, the 'API Access Permissions' section is shown, with a red box highlighting the '+ Add Access Permission' button. A table below shows the current permissions, with a message indicating that no permissions have been added yet. At the bottom, there is a note about consent for various applications.

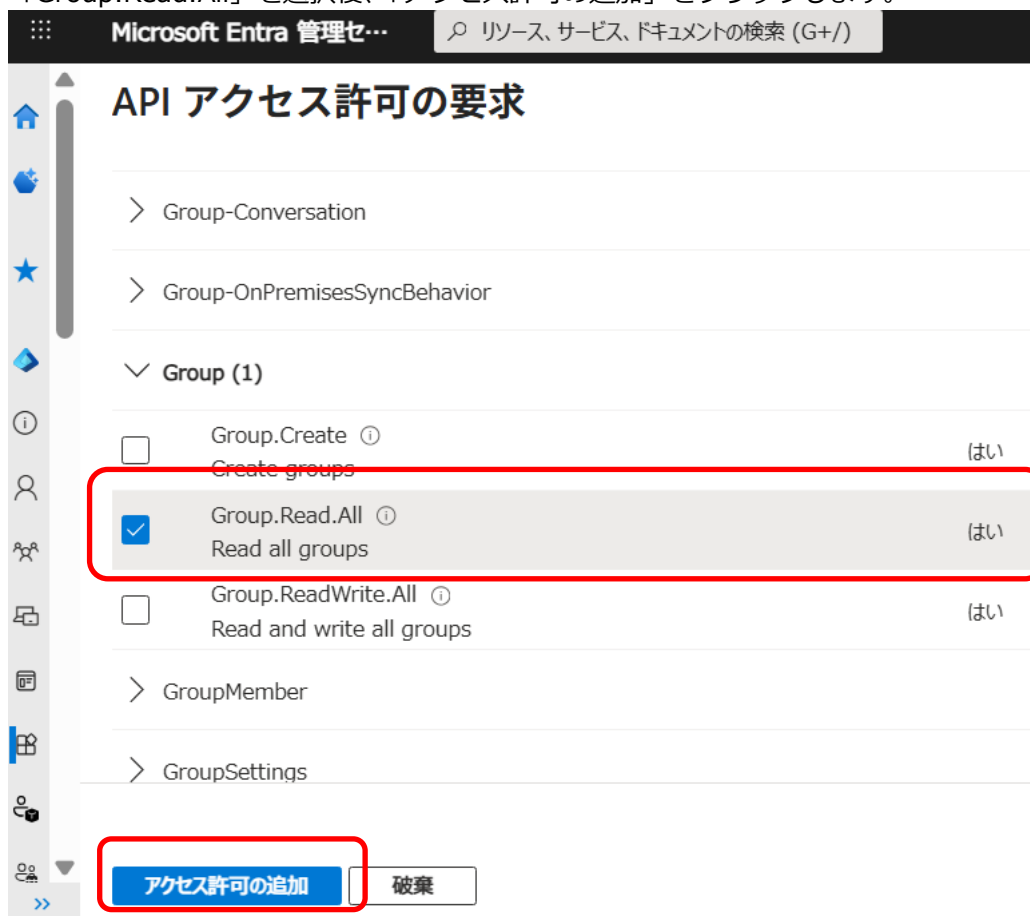
Microsoft Graph(Group.Read) 追加 : 「Microsoft Graph」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Entra management console. The left sidebar is the same as the previous screenshot. The main content area is titled 'API Access Permissions Requirements'. It includes a section for 'API Selection' with options for 'Microsoft API', 'API used by the organization', and 'My API'. Below this, there is a section for 'Microsoft API' with a list of APIs. The 'Microsoft Graph' option is highlighted with a red box. Other APIs listed include 'Azure Batch', 'Azure Communication Services', 'Azure Cosmos DB', and 'Azure Data Catalog'. Each API has a brief description of its capabilities.

「アプリケーションの許可」をクリックします。



「Group.Read.All」を選択後、「アクセス許可の追加」をクリックします。



⑬ Microsoft Graph(Group.Read) 追加

「アクセス許可の追加」をクリックします。

Microsoft Entra 管理セ...

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

Copilot

ホーム > EOBAux

EOBAux | API のアクセス許可

検索

最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

追加のAPIにアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 ...

API / アクセス許可の名前	種類	説明
Microsoft Graph (1)		
Group.Read.All	アプリケー...	Read all groups

「SharePoint」をクリックします。

API アクセス許可の要求

×

Data Export Service for Microsoft Dynamics 365 Microsoft Dynamics CRM 組織から外部宛先にデータをエクスポートします	Dynamics 365 Business Central Dynamics 365 Business Central のデータと機能へのプログラムによるアクセス	Dynamics CRM CRM ビジネス ソフトウェアと ERP システムの機能にアクセスします
Dynamics ERP Dynamics ERP データへのプログラムによるアクセス	Intune Intune データへのプログラムによるアクセス	Microsoft Purview オンプレミス、マルチクラウド、サービスとしてのソフトウェア (SaaS) のデータの管理と制御に役立つ統合データ ガバナンス サービス
Office 365 Management APIs Office 365 と Microsoft Entra ID のアクティビティログからユーザー、管理者、システム、ポリシーのアクションとイベントに関する情報を取得します	OneNote OneNote ノートブックでノート、リスト、画像、ファイルなどを作成して管理します	Power Automate フロー テンプレートの埋め込みとフローの管理
Power BI Service Power BI のデータセット、テーブル、行などのダッシュボード リソースへのプログラムによるアクセス	PowerApps Runtime Service 強力なデータ ストレージ、モデリング、セキュリティ、統合の機能	SharePoint SharePoint データとリモートで対話します
Skype for Business リアルタイムのプレゼンス、セキュリティで保護されたメッセージング、通話、会議の機能を統合します	Universal Print プリンターと印刷ジョブ リソースを作成および管理するためのプログラムによるアクセス	Windows Push Notification Services (WNS) Windows プッシュ通知サービス (WNS) と統合して、独自のクラウド サービスから Windows プラットフォーム上のアプリ クライアントにトースト通知、タイル、バッジ、生の更新を送信します。

「アプリケーションの許可」をクリックします。

API アクセス許可の要求

[すべての API](#)

 **SharePoint**
<https://microsoft.sharepoint.com> [ドキュメント](#)

 SharePoint API は、Microsoft Graph API を介して利用できます。代わりに Microsoft Graph を使用することをご検討ください。

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。

「Sites.FullControl.All」を選択後、「アクセス許可の追加」をクリックします。

API アクセス許可の要求

×

委任されたアクセス許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
 アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

[すべて展開](#)

 アクセス許可を入力し始めると、これらの結果がフィルター処理されます

アクセス許可

管理者の同意が必要

➤ Migration

➤ SharePointCrossTenantMigration

➤ SitesMetadataAdmin

▼ Sites (1)

☒	Sites.FullControl.All ⓘ Have full control of all site collections	はい
☐	Sites.Manage.All ⓘ Read and write items and lists in all site collections	はい
☐	Sites.Read.All ⓘ Read items in all site collections	はい
☐	Sites.ReadWrite.All ⓘ	

アクセス許可の追加

破棄

⑭ 「xyz(xyz.com)に管理者の同意を与えます」をクリックします。

ホーム > EOBAux

EOBAux | API のアクセス許可

検索 << 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

テナント全体の同意を付与すると、そのアプリケーションに対してテナント全体に付与されているアクセス許可が取り消される場合があります。ユーザーが自分の代わりに付与済みのアクセス許可は影響を受けません。 [詳細情報](#)

“管理者の同意が必要” 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

アクセス許可の追加 ☒ 株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
Group.Read.All	アプリケー...	Read all groups	はい	⚠ 株式会
▼ SharePoint (1)				
Sites.FullControl.All	アプリケー...	Have full control of all site collections	はい	⚠ 株式会

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試ください。

「管理者の同意の確認を与えます。」を「はい」をクリックします。

ホーム > EOBAux

EOBAux | API のアクセス許可

検索 << 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

管理者の同意の確認を与えます。

株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか？この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

“管理者の同意が必要” 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

アクセス許可の追加 ☒ 株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
Group.Read.All	アプリケー...	Read all groups	はい	⚠ 株式会
▼ SharePoint (1)				
Sites.FullControl.All	アプリケー...	Have full control of all site collections	はい	⚠ 株式会

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試ください。

「xyz(xyz.com)に付与されました」になります。

ホーム > EOBAux

EOBAux | API のアクセス許可

検索

最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

要求されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。

テナント全体の同意を付与すると、そのアプリケーションに対してテナント全体に既に付与されているアクセス許可が取り消される場合があります。ユーザーが自分の代わりに付与済みのアクセス許可は影響を受けません。[詳細情報](#)

"管理者の同意が必要" 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。[詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。[アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ 株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理...	状態
Microsoft Graph (1)				
Group.Read.All	アプリケ...	Re...	はい	✓ 株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) に付与されました
SharePoint (1)				
Sites.FullControl.All	アプリケ...	Ha...	はい	✓ 株式会社エクシード・ワン(exceedone.co.jp) に付与されました

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

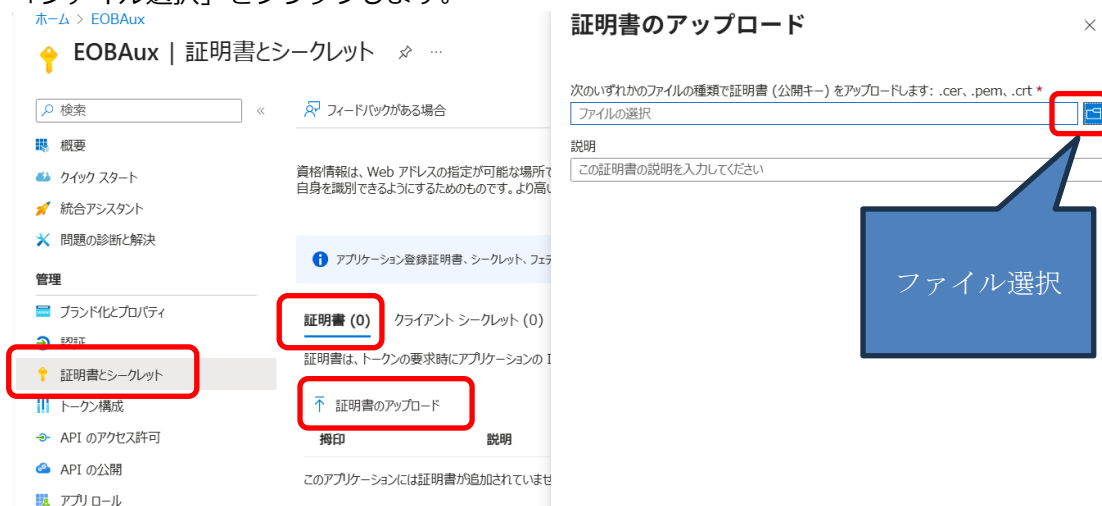
⑮ 証明書を登録する。

「証明書とシークレット」をクリックします。

「証明書」をクリックします。

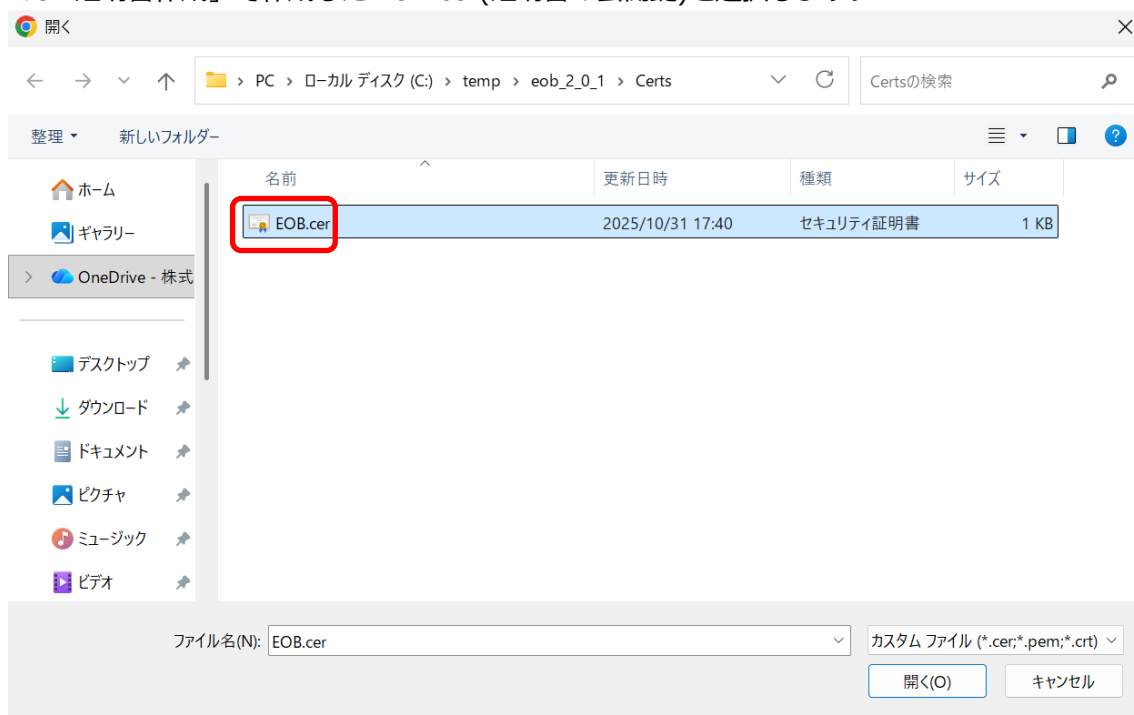
「証明書のアップロード」をクリックします。

「ファイル選択」をクリックします。



「EOB.cer」を選択後、「開く」をクリックする。

「3. 証明書作成」で作成した EOB.cer(証明書の公開鍵)を選択します。



「追加」をクリックする。

The screenshot shows the EOBAAux interface with the 'Certificates and Secrets' section selected. A modal window titled '証明書のアップロード' (Upload Certificate) is open. It contains a text input field with 'EOB.cer', a description field, and two buttons at the bottom: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel). The '追加' button is highlighted with a red rectangle.

以下のように証明書が追加されます。

The screenshot shows the EOBAAux interface with the 'Certificates and Secrets' section selected. The '証明書のアップロード' (Upload Certificate) modal is no longer present. Instead, a table of certificates is displayed. The table has columns for 'ID', 'Name', 'Description', 'Start Date', 'Expiration Date', and 'Certificate ID'. One certificate is listed, and its details are highlighted with a red rectangle.

ID	名前	説明	開始日	有効期限	証明書 ID
6672B60F737AEE3D...	CN=EOB		2025/10/31	2035/10/31	87e9f7ee-0b07...

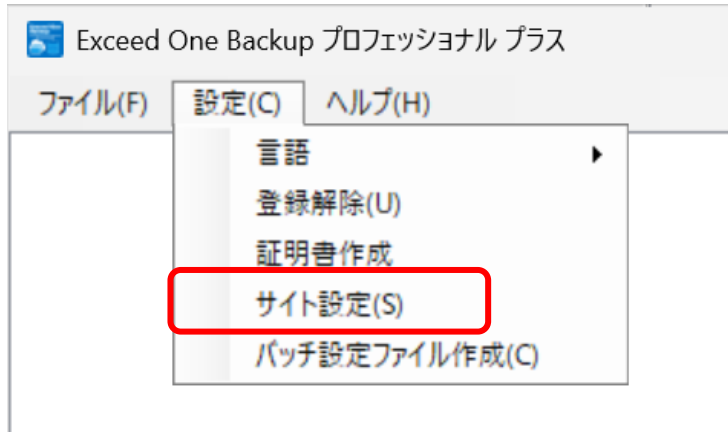
ここまでで EntraID の設定は完了です。

5. サイト設定

- ① EOB を起動します。

その際、「サインイン」画面は「キャンセル」で閉じてください。

- ② 「設定」→「サイト設定」をクリックします。



- ③ サイト設定画面で、以下の値を入力します。

【EntraID】

テナント ID : EntraID の画面でコピーしたテナント ID

クライアント ID : EntraID の画面でコピーしたアプリケーション (クライアント) ID

【SharePoint】

SharePoint サイト名 (例 : sample.sharepoint.com)

サイト設定

EntraID

テナントID

クライアントID

証明書(PFX)ファイル

証明書(PFX)パスワード

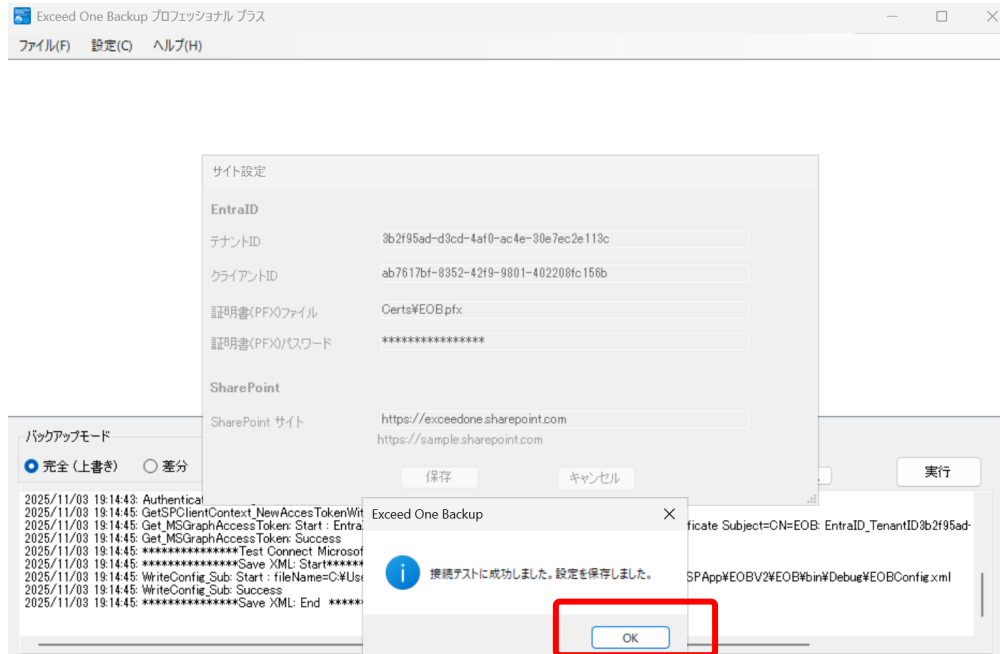
SharePoint

SharePoint サイト

- ④ 「保存」をクリックします。

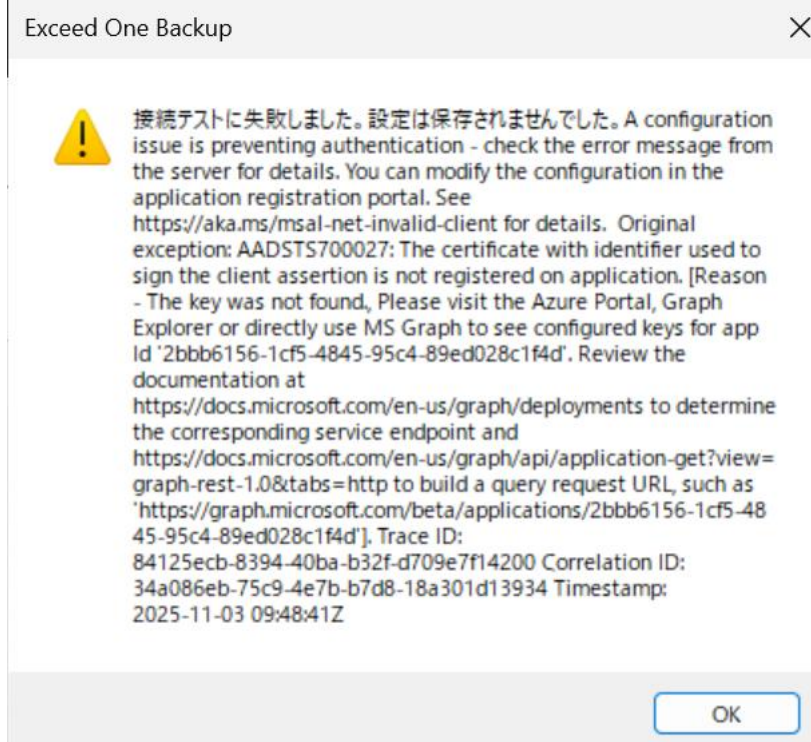
正常に SharePoint にアクセスできた場合は、「接続テストに成功しました。設定を保存しました。」が表示されます。

「OK」をクリックしてください。



⑤ エラーの場合は以下の確認をお願いします。

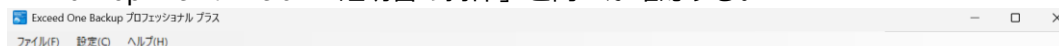
エラーの場合は、「接続テストに失敗しました。設定保存されませんでした。」と表示されます。



EOB の画面上に接続テスト時に使用された、以下の情報が表示されています。

設定が正しいか確認してください。

- ・ TenantID : 「EntraID:ディレクトリ(テナント) ID」と同一か確認する。
- ・ EntraID_ClientID : 「EntraID:アプリケーション(クライアント) ID」と同一か確認する。
- ・ Thumbprint : 「EntraID:証明書の拇印」と同一か確認する。



「EntraID:ディレクトリ(テナント) ID」

「EntraID:ディレクトリ(テナント)ID」

[ホーム](#) >

EOBAux ☆ ...

検索

削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

少しお時間があれば、Microsoft ID プラットフォーム (以前は開発者向け Azure AD) に関するフィードバックをぜひお寄せください。 →

基本

表示名
EOBAuxアプリケーション (クライアント) ID
ab7617bf-8352-42f9-9801-402208fc156bクライアント ID
96e84c27-0a56-4d49-823f-593cbee1aa60ディレクトリ (テナント) ID
3b2f95ad-d3cd-4af0-ac4e-30e7ec2e113cサポートされているアプリケーションの種類
所属する組織のみ

クライアントの資格情報

1 証明書、0 シークレット

リダイレクト URI

リダイレクト URI を追加する

アプリケーション ID の URI

アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネージド アプリケーション

EOBAux

「EntraID:証明書の拇印」

[ホーム](#) > [EOBAux](#)

EOBAux | 証明書とシークレット ☆ ...

検索

フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

お時間があれば、フィードバックをお寄せください。 →

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対し自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (1) クライアント シークレット (0) フェデレーション資格情報 (0)

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印

0DFCC603B685E5DEE294EAB08652A47515A236C0

説明

CN=EOB

開始日

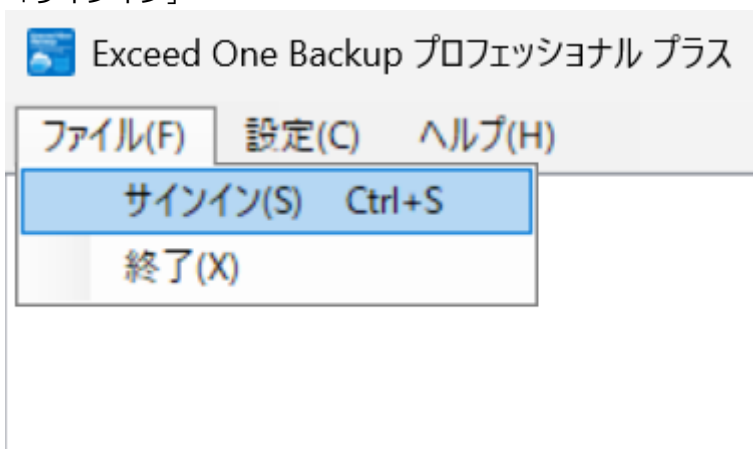
2025/10/31

有効期限

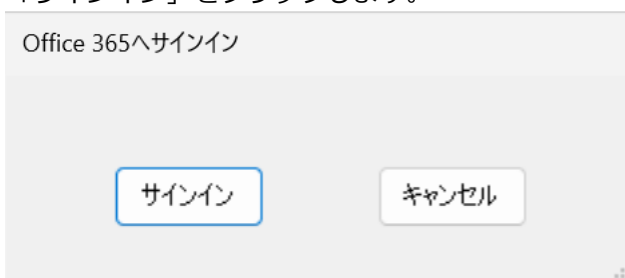
2028/10/31

6. サインイン

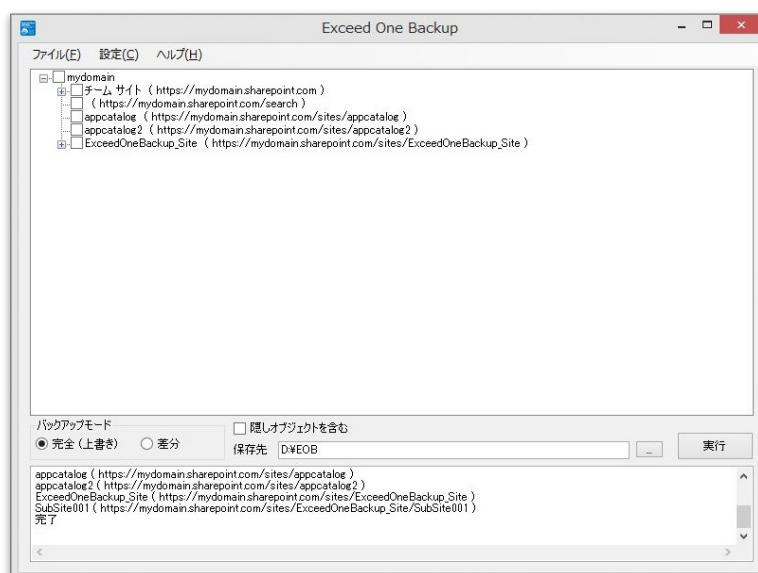
① 「サインイン」



② 「サインイン」をクリックします。



③ EntraIDへの登録、およびEOBの設定が正しければEntraID(SharePoint)へサインインし、サイトツリーが表示されます。

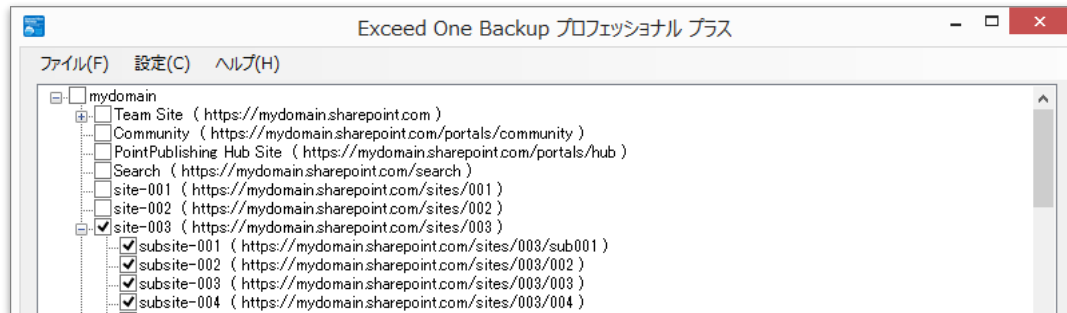


サインインが正常にいかない場合は、再度設定を確認してください。

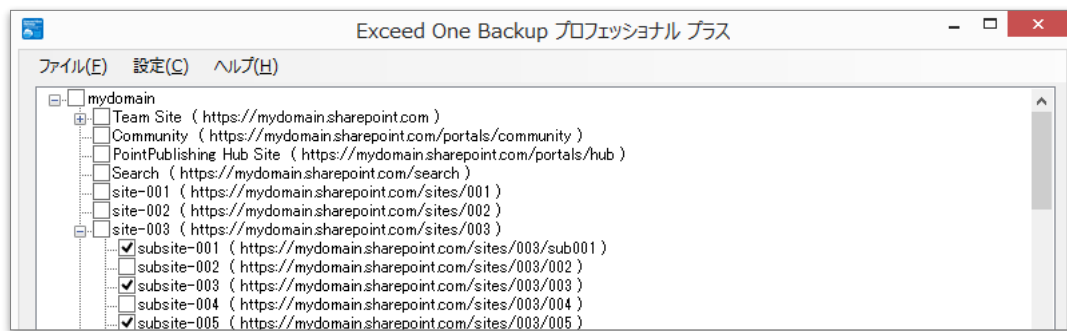
7. バックアップ方法

1) バックアップを行うサイトにチェックを入れます。

●チームサイト配下全てをバックアップする場合



●配下のフォルダーをバックアップする場合



【特記】プロフェッショナル プラスの場合は「個人用サイト」が表示され、選択できます。

2) バックアップ方法を指定します。

バックアップモード：『完全(上書き)』・『差分』

隠しオブジェクトを含む：含む場合はチェック

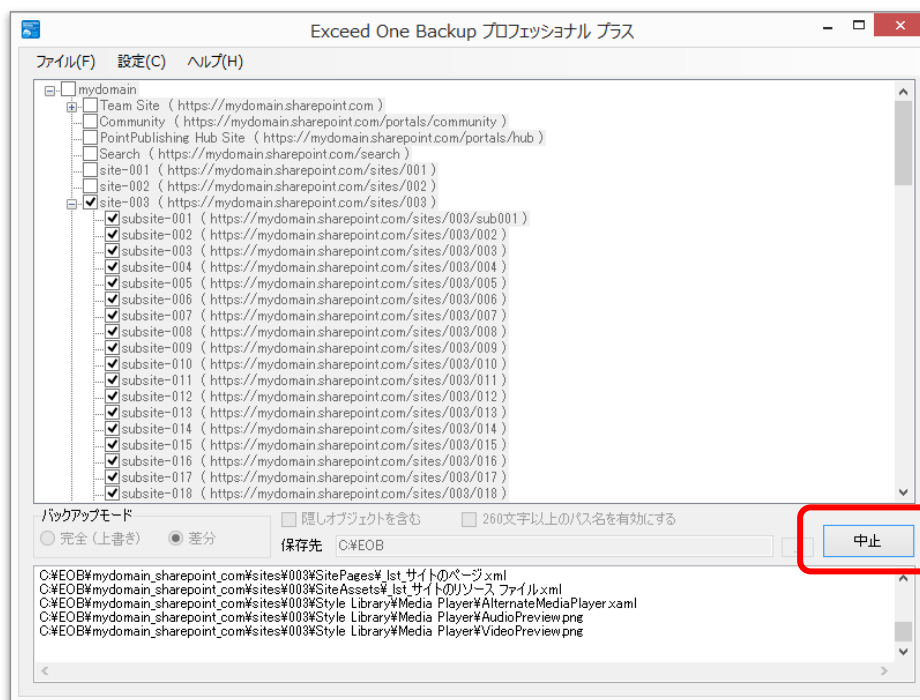
保存先：保存先ローカルストレージ

3) 「実行」をクリックします。

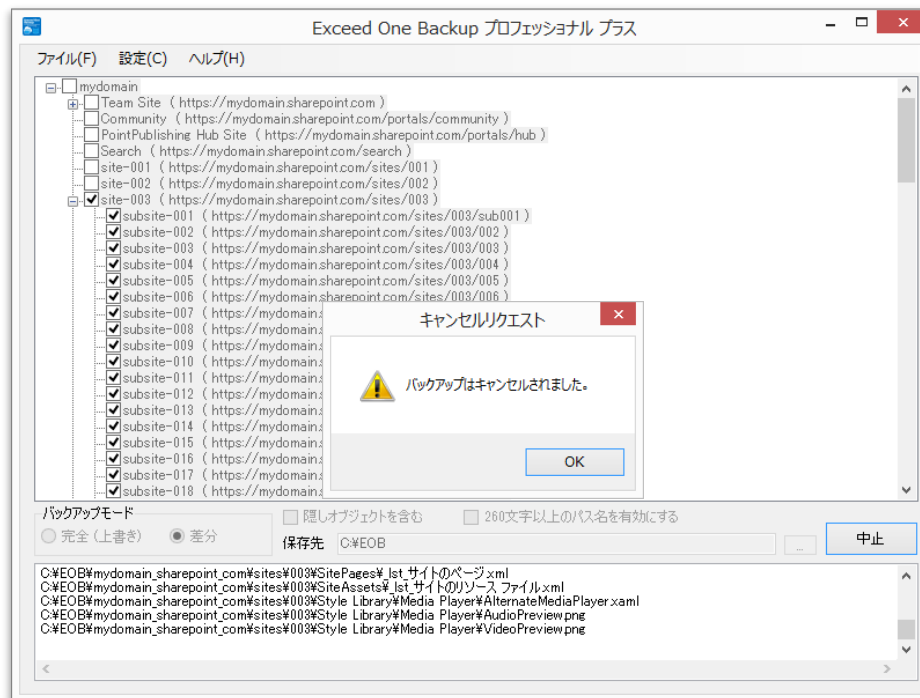
バックアップが開始されます。

※途中で中止したい場合

- ・バックアップ中に「中止」をクリックします。



- ・キャンセルリクエスト画面が表示されたら「OK」をクリックします。

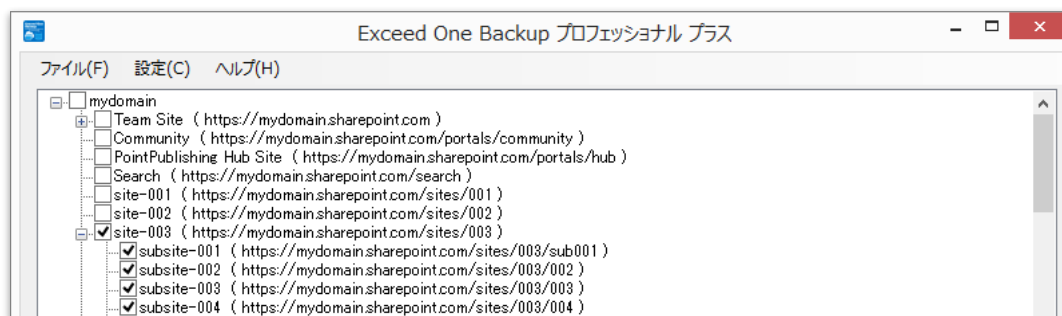


注意) ファイルが保存中の場合、処理が中断するまでしばらく時間がかかります。

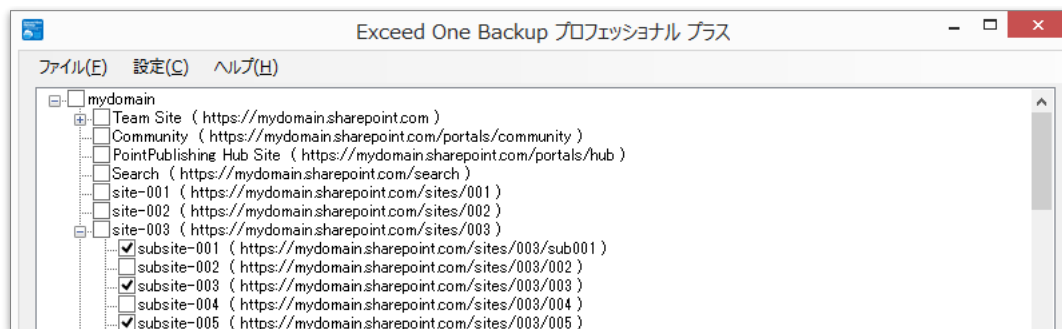
8. バッチバックアップ方法

1) EOB を起動し、バックアップを行うサイトにチェックを入れます。

●チームサイト配下全てをバックアップする場合



●配下のフォルダーをバックアップする場合

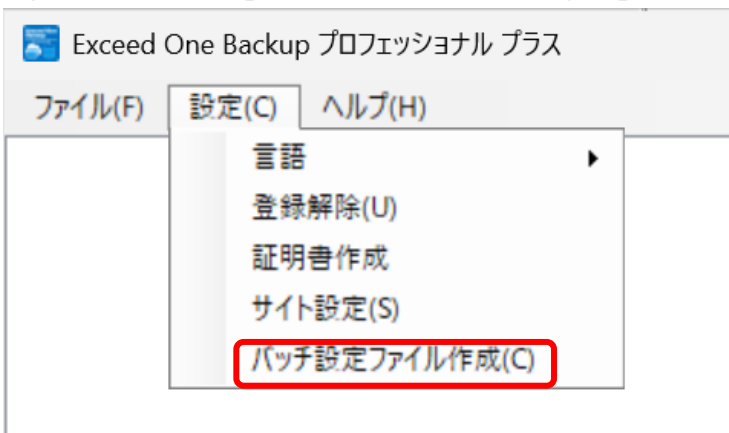


2) バックアップ方法を指定します。

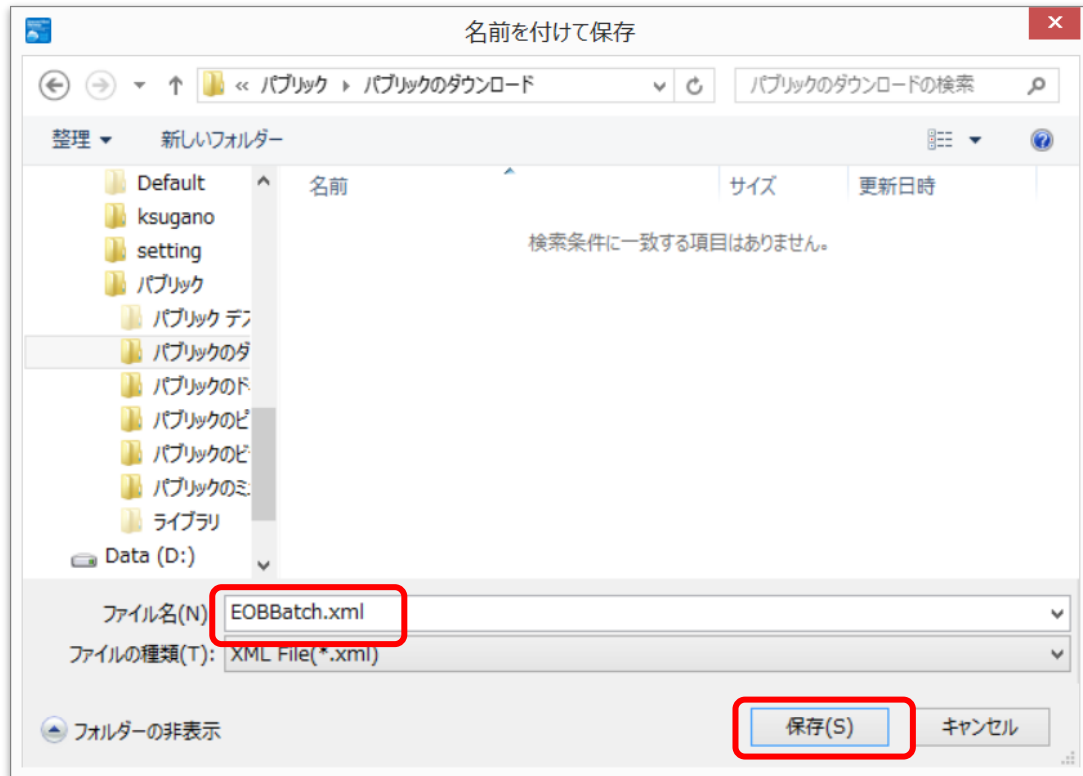
バックアップモード：『完全(上書き)』・『差分』

隠しオブジェクトを含む：含む場合はチェック

3) メニュー「設定」→「バッチ設定ファイル作成」をクリックします。



4) バッチ設定ファイルの保存先と名前を指定し、ファイルを保存します。



5) コマンドラインの指定

コマンドプロンプトを起動し、バックアップの指定を行います。

EOBCmd.EXE /c:config /f:folder [/l:logfile] [m:/param]

/c: バッチ設定ファイル

/f: バックアップ先フォルダー

/l: ログファイル名 (任意)

/m: 自動取得モード (任意)

a 一般サイト+個人用サイト ※個人用サイトはプロフェッショナル プラスのみ有効

g 一般サイトすべて

p 個人用サイトすべて ※プロフェッショナル プラスのみ有効

o グループ用サイトすべて ※プロフェッショナル プラスのみ有効

構文例("l"は小文字の"エル"です。)

C¥temp¥eob_2_0_1:>EOBCmd.EXE /c:EOBBatch.xml /f:c:¥Backup /l:c:¥Logfile.txt

●自動取得モードについて

自動取得モードを指定すると、“1)”で行った設定を無視し、実行時に存在するサイトすべてをバックアップします。常にすべてのサイトをバックアップしたい場合は、自動取得モードが便利です。

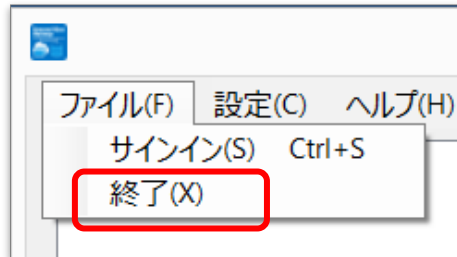
● 定期的なバックアップを行う場合

バックアップ方法を指定したバッチファイルを作成し、Windows のタスクから実行してください。

参考 : SampleBatchFile.cmd

9. 終了方法

- 1) バックアップが終了していることを確認します。
- 2) 「ファイル」→「終了」を選択します。



10. アンインストール

- 本製品の使用を中止する場合

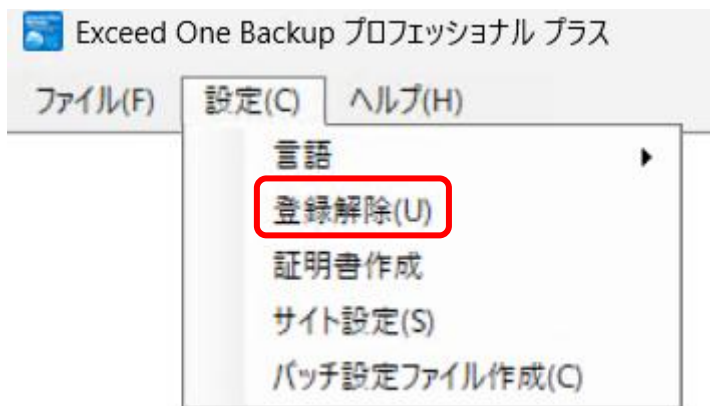
「1）ライセンス解除」および「2）SharePoint から削除」を実施してください。

- ライセンスを移動する場合

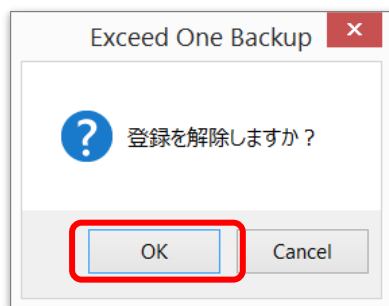
「1）ライセンス解除」のみ実施してください。

1) ライセンス解除

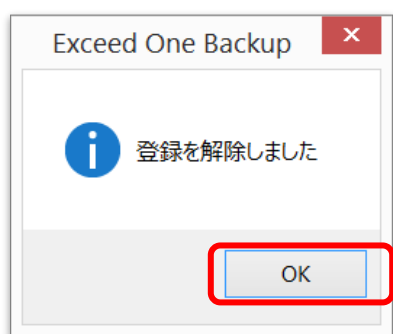
①「設定」→「登録解除」を選択します。



②「OK」を選択します。



⑧ 「OK」を選択します。



2) EntraID から「アプリ登録」削除

注意) この作業には管理者権限が必要です。

- ① 「4) EntraID の設定」で登録した「EOBAux」アプリにアクセスします。

「削除」をクリックします。

ホーム > アプリの登録 >

EOBAux

検索

削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

少しお時間があれば、Microsoft ID プラットフォーム (以前は開発者向け Azure AD) に関するフィードバックをぜひお寄せください。 →

へ 基本

表示名
EOBAux

アプリケーション (クライアント) ID
ab7617bf-8352-42f9-9801-402208fc156b

オブジェクト ID
96e84c27-0a56-4d49-823f-593cbee1aa60

ディレクトリ (テナント) ID
3b2f95ad-d3cd-4af0-ac4e-30e7ec2e113c

サポートされているアカウントの種類
所属する組織のみ

クライアントの資格情報
1 証明書、0 シークレット

リダイレクト URI
リダイレクト URI を追加する

アプリケーション ID の URI
アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネージド アプリケー
EOBAux

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph に新しい機能はも
ユリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) およ
る必要があります。詳細情報

- ② 「削除」をクリックします。

ホーム > アプリの登録 >

EOBAux

検索

削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

少しお時間があれば、Microsoft ID プラットフォーム (以前は開発者向け Azure AD) に関するフィードバックをぜひお寄せください。 →

へ 基本

表示名
EOBAux

アプリケーション (クライアント) ID
ab7617bf-8352-42f9-9801-402208fc156b

オブジェクト ID
96e84c27-0a56-4d49-823f-593cbee1aa60

ディレクトリ (テナント) ID
3b2f95ad-d3cd-4af0-ac4e-30e7ec2e113c

サポートされているアカウントの種類
所属する組織のみ

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph に新しい機能はも
ユリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) およ
る必要があります。詳細情報

概要 ドキュメント

Microsoft ID プラットフォーム

Microsoft ID プラットフォームは、認証サービス、オー

このアプリの登録を削除すると、次のようになります:

- このアプリでユーザーのサインインや保護されたリソースへのアクセスを行うことができなくなります。

Note: If this is not the desired outcome, consider deactivating the app first.

設定	その他を表示
アクセス許可の問題	アクセス許可の表示
ユーザーおよびグループの割り当て	ユーザーとグループの表示

☒ このアプリの登録を削除することによる影響を理解しています。

削除 キャンセル

11. 注意事項

1) 長いパス名

Windows の仕様により、保存先のフォルダー名とファイル名の組み合わせが 260 文字以上となる場合、エクスプローラーなどで操作（編集・削除等）ができなくなる場合があります。260 文字以上のパス名を有効にする場合、ご注意ください。

2) 証明書の有効期限

証明書には有効期間があり、現在 EntraID の仕様で上限はありません。

※証明書の有効期間の推奨値は 3 年以内、より厳密な運用では 1 年以内です。

有効期限が切れる前、もしくは有効期限が切れた場合は以下の手順で「証明書の再設定」をしてください。

【証明書の再設定】

- ・本マニュアルの「3. 証明書作成」を実施する。
 - ・本マニュアルの「4. EntraID の設定」の「⑤証明書を登録する。」を実施してください。
- ※既存の証明書は削除しても、削除しなくても問題ありません。

3) エラーが発生した場合

実行環境によっては、バックアップエラーが発生することがあります。（ネットワーク負荷など）

エラーが発生した場合、再実行してください。

Exceed One Backup マニュアル

製造・販売 : 株式会社エクシード・ワン

改訂日 : 2025/11/02 EOB Ver.2.0.1 (EntraID 版)

